

# Amizade

姉妹都市協会ニュース

No. 32

2014年3月（平成26年）

アミサーヂ：友好  
**Amizade**：友好

ブラジル公式訪問～レジストロ日本移民入植100周年記念～

国際交流フェアを開催

学校給食週間



2013年はレジストロ地域へ日本人が移住を始めて100年の記念すべき年であり、協会では平成25年10月29日から9日間の日程で、レジストロ市、サンパウロ市を訪問しました。

10月31日、レジストロ市では、日本移民入植百周年の記念式典が入植地域である隣市のイグアツペ市、セツェバラス市と合同で開催されました。

式典では、先亡者の慰霊法要、功労者表彰、またレジストロ市名誉市民章及び中津川市特別栄誉市民章の贈呈も行われ、中津川市では、青山節児市長、杉本潤協会長、小倉忠雄協会理事の3名が受章いたしました。

また、移民百周年を記念して、日伯文化協会会館が増築され、日本語学校の教室も広くなり、日本語を学ぶ子どもたちの環境も整備されました。

ブラジルのお盆である11月2日には開拓移民者を供養するため灯籠流しがレジストロ市内で行われ、開拓移民者を供養するため、約2500基の灯籠が流されました。会場には約3万人が集まり、多くの出店や和太鼓の演奏、盆踊りなどで大変盛り上がっていました。

11月3日にサンパウロ市へ移動し、日本人開拓先没者慰霊碑を参拝し、敷地内にある日本館を見学しました。

最終日にはブラジル岐阜県人会創立75周年を祝い県人会事務所を訪問し、山田会長と懇談を行い、現在のブラジルにおける日系社会の現状と課題について懇談を行いました。その後、市内サンタクルス病院にある島崎藤村の歌碑を見学し、帰国の途に就きました。



レジストロ市移民資料館 (IJKKKK)

## アミザーチ第32号の発刊にあたって

会長 杉本 潤

昨年(2013年)は、レジストロ市に日本人が移住して100年の記念すべき年となり、レジストロ市を中心とした3市合同による日本移民入植百周年の記念式典が開催され、姉妹都市友好推進協会では、青山市長をはじめとする慶祝訪問団24名でレジストロ市を訪問いたしました。

今回の訪問では、初めてレジストロ市以外のまちも訪問させていただき、日系一世の方のお話や当時の資料等を見せていただくなど、移民された方々の苦労や努力の歴史、現在のブラジルにおける日系社会の現状等を改めて知ることができました。

また、訪れたまちでは私たちが忘れていた昔ながらの日本の故郷の味に出会い、心が温まるとともに大変感激いたしました。

この記念すべき年にレジストロ市を訪問できたことは、1980年に姉妹都市を提携してからこれまでの間、両市の友好を築き上げてきた関係者の皆さまのご尽力によるものと感謝申し上げます。

姉妹都市の協定書には「両市の友好親善を深め、両国の親善を促進し、これが世界の平和と繁栄に貢献することを念願する。」と記されています。



百周年記念式典にて杉本協会長(右)と高橋レジストロ姉妹都市協会長(左)

ます。この精神にのっとり、日本の大切な友好国として一層の友好親善に努めるとともに、人と人、団体と団体がお互いを理解し、交流を深めることは、まさに両市がめざす民際外交による姉妹都市の姿であります。

中津川市姉妹都市友好推進協会は、これまで両市が積み重ねてきた友好の歴史を振り返るとともに、これからの時代に適応した新たな交流の仕方を模索しながら、友好の歴史を積み重ねていきたいと考えております。

今後とも市民の皆さまの一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

# ブラジル公式訪問団を派遣

レジストロ日本移民入植100周年記念



3市合同の入植百周年記念式典に参加

APAE (障がい者訓練施設) を訪問



青山市長からレジストロ市長へ「絆」の書を贈る

姉妹都市会議を終え固い握手を交わす両市長、姉妹都市協会長ら



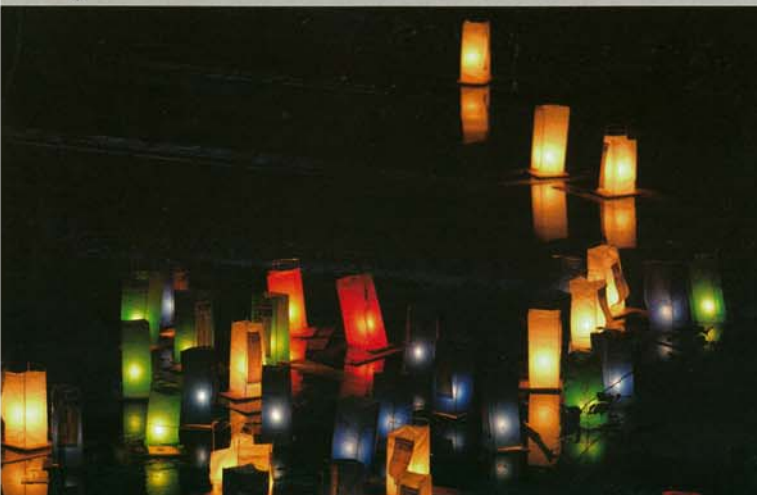
灯籠流し会場では浴衣の子ども達による民踊や太鼓が披露



隣市イグアッペにて移民写真展を見学

約2500基の灯籠を川に流し開拓移民者を供養

レジストロ市内にある中津川公園



ブラジル公式訪問

くサンパウロ編く



島崎藤村の歌碑を見学

日本病院とも呼ばれるサンタクルス病院には島崎藤村の歌碑が建てられている。



ブラジル岐阜県人会を表敬訪問

山田会長と懇談 青山市長の後ろには、平成15年に中津川市が寄贈した「恵那山(平野和男画)」が飾られています。

「世界へのトビラをたたこう」をテーマに国際交流フェアが中津川市とJICA(独立行政法人国際交流機構)の共催で開催されました。身近にある世界を知り、国際交流に興味を持ってもらうため、会場では姉妹都市レジストロ市やブラジルの紹介ブースをはじめ、中学生海外研修に参加した中学生ボランティアらの協力によるミサンガ作り、フェイスペインティング、民族衣装体験コーナー等が設置されました。



ワークショップ「世界がもし100人の村だったら」

国際交流フェアを開催

ブラジルに親しむ会

市内サークル「ブラジルに親しむ会」ではブラジルに関する知識を深めています。

ポルトガル語を学びたい方、興味のある方はお気軽にご連絡ください。

問合せ 酒井(66-1795)



西小学校の給食の様子

学校給食週間

毎年、学校給食週間には、姉妹都市にちなみ、ブラジル料理が出されます。

今年はフェジヨアーダ(豆と豚肉を煮込んだブラジル料理)が出され、子どもたちは「カレーみたいでおいしい」とって食べていました。



平成26年度 会員募集

中津川市姉妹都市友好推進協会では、平成26年度の会員を募集しています。

申込用紙は、事務局・中津川商工会議所の窓口に備えてあります。

当協会の活動を盛り上げ、国際交流の拡大を図るため、一人でも多くの皆様の加入をお願いします。

会費は次のとおりです。

◆個人 1口 1,000円 ◆団体 1口 5,000円 ◆法人 1口 10,000円

発行 中津川市姉妹都市友好推進協会

事務局 岐阜県中津川市栄町1番1号 にぎわいプラザ4階  
中津川市役所文化スポーツ部生涯学習スポーツ課内

TEL 0573-66-1111(内線4313)  
FAX 0573-65-5795  
E-mail shogai-sp@city.nakatsugawa.lg.jp